

真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

1995—96年度国際ロータリーのテーマ

ハーバート G ブラウン
国際ロータリー会長

第2560地区
ガバナー——重田 政 信
会 長——石 橋 育 於
会長エレクト——捧 賢 一
副 会 長——五十嵐 総 一
幹 事——松 谷 晃 吉
副 幹 事——五十嵐 昭 一
S A A——清 水 良 一
副 S A A——菊 池 涉

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	80名中 55名
先々週出席率	89.47 %
前年同期出席率	

ヴィジター

三条南より 大竹和男さん
葦沢喜一郎さん

新潟西より 小野守通さん

先週のメイクアップ

2/13 三条北へ 五十嵐晋三さん

会長挨拶 石橋会長

三条南RCより大竹和男さん、葦沢喜一郎さん、新潟西より小野守進さん、ようこそおいで下さいました。

今日は先週と大分違いめっきり春らしい良い天候であります。心地良く自転車のペダルを走らせて例会場へまいりました。皆様もきっと同じような気持ちでおいでいただいております。

しかし皆様も御承知の通り連日新聞の一面に載っている巨大な岩盤とトンネルの写真が写し出されております。北海道

の余市町、古平町間のトンネル崩落事故ですが今日で五日目を迎えております。昨日まで2回、3回とトンネル上にかかっている巨大な岩盤除去の爆破も思うようにいかず先程午前11時に4回目の発破が行なわれ、ようやく全部崩壊したようで事故から99時間だそうです。これからは一刻も早い20名の方々の無事救出をお祈りいたしたいと思ひます。

本日は1995～1996年度上半期の決算報告を五十嵐会計より御報告申し上げますので、よろしくお願ひ致します。

ニコニコBOX



石橋さん

本日は卓話をいただきます。三条保健所医薬予防課 剣雅晴課長様をおむかえ申し上げます。

松谷さん

剣さんを歓迎して。卓話ありがとうございます。

林さん

医薬予防課長、剣雅晴様をお迎えして。

鈴木さん

経済ミッションの一員に加えて頂きフィリピンへ3泊4日で行って来ました。此の国は政治は安泰、経済は上り坂の様です。

古澤さん

フィリピン経済ミッションに参加して勉強してきました。鈴木宗資さん、山本福七さん、五十嵐昭一さん、捧賢一さん、渡辺勝利さん、斎藤弘文さんお世話になりました。

斎藤(弘)さん

過日、三条市、商工会議所並びに国際交流協会が共催するフィリピン経済ミッションに参加致しました。鈴木団長をはじめ山本福七さん、捧賢一さん、五十嵐昭一さん、古沢富雄さん、渡辺勝利さんに大変お世話さまになりました。

捧さん

フィリピン経済研修会団長の商工会議所会頭、鈴木さんを始め大勢のロータリーの友人にお世話になり楽しい旅でした。

杉野さん

北海道古平～余市のトンネル事故のテレビ毎日見て60年7月13日麻布の崖崩れで逃げ遅れた住民を救出した事を思い出しております。

渡辺(弘)さん

母の肖像画(油絵)を描き先日漸く完成し、贈ったら大変喜んでくれました。親孝行が久しぶりにできました。

高橋(一)さん

先日ミネアポリスで-30°を体感してきました。風があるともものすごく寒いものです。

五十嵐(総)さん

今年初めてのホームクラブ出席で大変

ご無沙汰致しすみません。寒い所から暖かいハワイへ社員旅行でくつろいで来ました。

高森さん

今日はチョコを4コももらいました。早退させていただきます。

松縄さん

先日の3連休に会社の慰安旅行で70名で南九州へ出かけ宮崎で巨人軍の練習を見てきました。

細井さん

三高時代の同級生で広島、山口、萩と旅行して来ました。広島では十何年ぶりの大雪で20cm程つもってました。でも雪景色の原爆ドーム、安芸の宮島は最高でした。

内山さん

都合で早退させていただきます。

佐藤(武)さん

恐れいります、早退させていただきます。

佐野さん

剣課長さんをお迎えして。又、先日11日、12日、1泊2日で会員9名の参加で斑尾高原でスキーを楽しんで来ました。2日間共、快晴で最高でした。

中村さん

2月11日～12日と会員の友志と斑尾(マダラオ)高原へスキーに行ってきました。天気にも恵まれ楽しい時を過ごさせていただきました。

吉井さん

先日の連休にロータリーの皆さんでマ

ダラオ高原スキー場を楽しんで来ました。好天で楽しいスキーでした。

三堀さん

ロータリーの皆さんとスキーを御一緒させて頂きました。中年暴走族を思わせるロータリアンスキーヤーに驚かされました。

佐久間さん

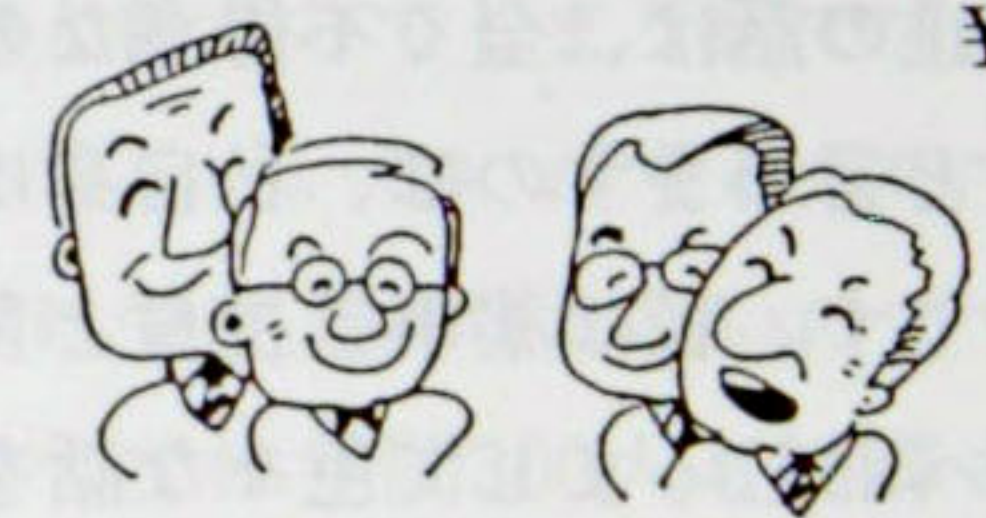
11、12日とロータリーの皆様と斑尾高原にスキーに行ってきました。楽しく遊んだおかげで体全体に筋肉痛です。

小柳さん

ロータリーの皆様と4～5年ぶりにスキーを楽しみました。

2月14日分

¥25,000



卓 話

「麻薬・覚せい剤・シンナーの 乱用をなくそう」

三条保健所医薬予防課

課長 剣 雅 晴 氏



薬物乱用防止の話は、全く不得意なのであります。と言いますのは、私自身に体験が無いのです。私は薬事監視員と言う事で、薬局へおじゃまして色々な話をさせてもらう訳ですが、その場合は自分の体験に基づいて、進言したりできるのですが、麻薬とか覚せい剤については、経験が無いものですから誠に心許ないのですが、いいかげんな話ではない事を御承知おき頂きたいと思えます。

薬物とは、広い意味では、身体又は身体の組織になんらかの影響を与える化学物質をいいます。そして、乱用とは社会的常識、特に医学的常識を逸脱して薬物を使用することをいいます。つまり、医療上は薬物を必要としない場合や、たとえば必要であっても必要以上の薬物を、時々又は絶えず使用する行為で、医療目的か

ら逸脱した薬物の使用といえます。

現在、我国で乱用されている薬物には麻薬（ヘロイン、コカイン、LSD等）あへん、大麻、覚せい剤、向精神薬（ニトラゼパム、トリアゾラム等）有機溶剤（シンナー、トルエン等）があります。これらは各種の法律で厳しく規制されていますので、合法的（医療）でなければたとえ1回の使用であっても乱用に当たります。

所が、麻薬は医療上大いに役立っている訳で、例えば鎮痛剤の分野では効果のある医薬品として使用されています。特に末期ガンの患者に投与される麻薬は、強力な鎮痛効果があり、WHOでも認められています。しかし、覚せい剤については医療上においては何の役にも立っていません。向精神薬はハルシオンと言う睡眠薬に使用されていますので、それなりに役に立っている訳です。有機溶剤は塗装等に使用されていますから、我々の生活に寄与しています。

次に何故薬物乱用が怖いと言う事です。特に覚せい剤が怖いのです。麻薬の乱用は精神科病棟に30日位入っておれば、完治して社会復帰できます。所が覚せい剤の方は一生ついてまわると言う事です。だから怖いのです。更に、麻薬については家族や他人に迷惑をかけない傾向がありますが、覚せい剤となると、全く関係の無い人に害を及ぼすという事です。古い話ですが、駅の地下街でグサリとやられたとか、奥さんが浮気をしていると思

い込んで幼い子供の前で刺し殺したとか、自分以外の人に悪い影響を与えています。

更に、覚せい剤や有機溶剤は非常に依存性が強いから誠に困ったものなのです。1回でも乱用すると次から次へと尾を引く訳で、それも前回よりも使用量を増やさないと、当初の結果が得られなくなるのです。当初の結果とは、覚せい剤等を乱用すると、身体が楽になる、疲れがとれる、自信が湧いてくるとかといった感じになると言うだけの事なのです。実際は本当に身体が楽になったり、疲れがとれたりしてはいないんです。従って薬物が切れると自信が無くなったり、疲れが出たりするものだから、再び乱用する、それも前回より多目でないと効果が現われない、このくり返しが泥沼にはまる事になる訳です。

物の本によりますと、1日1回覚せい剤をうつと3ヶ月で中毒になるとあります。勿論、個人差はありますが……。こうなりますと、「不安な気分になる」「いらいらして怒りっぽくなる」「そわそわして周囲のことに気を回すようになる」といった症状が現われ、やがては精神障害を起こすようになります。更に、「ラジオやテレビが自分の悪口を言っている」といった幻を見たり、現実にはあり得ない声を聞いたりするようになり、物事が理解できなくなり、やがては自分が何をしたのかを覚えていない等の症状が現われ、幻覚や妄想に陥った時には凶悪な犯罪につながる事になるのです。

現在、わが国では覚せい剤乱用や有機溶剤乱用が、取り締まりや処罰の強化に対してもいっこうに鎮静化していません。これは常に供給がある、非常に身近に薬物があると云う事が一因です。

ムショ帰りの者がお世話になった組に挨拶に行くと、出所祝に1本やれやという事になり、再び刑務所に逆もどりする例が沢山あります。いわゆるフラッシュバックと言われるものです。

シンナーは油を溶かす、塗料をうすめるものですが、それを人間が吸うと身体の脂肪を溶かしてしまいます。一番怖いのは神経を溶かしてしまうのです。神経は元にもどらないのですから、いわゆる廃人になってしまう訳です。シンナーはとてもいい匂いがするものですから、少年に受け入れられ易いのです。しかし、かつては年間300人も補導されていたシンナー乱用者は、平成6年では22人に減少しているのも事実です。

現在、青少年は薬物乱用についての知識は皆んなもっています。そして薬物は身近にあって何時でも手に届くものですから、乱用の誘惑に負けない青少年の育成が求められています。

薬物乱用問題は、現代社会では避けて通ることができないほど、私達の身近で深刻な問題となっています。正しい知識を身につけ、薬物乱用の怖さを十分認識する事が決め手です。薬物乱用のない社会環境をつくる合言葉は「ダメ！ゼッター！！」です。

わが家・色・いろ

荻野保和会員

♣わが家について

妻、長女（22才）、長男（高3）、母と5人家族

◆おとうさんへの要望

「浪人許可証」をくれ～！（息子より）
私のボーイフレンドにヤキモチを妬かないで！（娘より）

◆おかあさんからおとうさんへ

言葉と女性学に興味を持つ我が家のおかあさんに言わせるとこの欄は、「妻より夫へ」が正しいのだそうです。
私より1日だけ長く生きてください。（妻より）



おとうさんってこんな人

♡おとうさんの好きなところ

少年のようにロマンチストで、青年のように権威主義に反発しながらも、大人の包容力を持っているところ。

（妻より）

♡おとうさんの嫌いなところ

何度も「禁煙宣言」しているけど、そろそろ実行に移したら？（全員より）

例会案内

三条RC	2月21日例会	卓話	第4分区代理	岡田健一殿
	2月28日例会	卓話	菊池	渉会員
	3月6日例会	卓話	ローターアクト会長	刈谷隆二会員
三条南RC	2月26日			
	3月4日例会	卓話	巻保健所長	
	3月11日例会	卓話	田中久作会員	
三条北RC	2月27日例会	会員卓話		
	3月5日例会	会員卓話		
	3月12日例会	会員卓話		